

【夏場の猛暑対策として遮光資材が鉢花の生育・開花に及ぼす影響を調査中です】

<令和8年8月24日>

いつになったら暑さが収まるのか……。7月梅雨明け以降、今年の夏は連日のように熱中症警戒アラートが発令されており、猛暑による農作物の安定生産対策は益々重要になっています。近年の夏季異常高温は、島根県を代表する鉢花であるシクラメンにおいても生産現場で生育不良や開花遅延の要因になっており、その対策は喫緊の課題です。

特産園芸科では、近年花き施設栽培の夏季高温対策として細霧冷房や短期間夜間冷房の効果、遮光の効果について調査を行っていますが、遮光について今年度は遮光率の違いだけでなく、資材特性の違いにも着目した調査を進めています。

適切な暑熱対策の検証を重ねて、高温による生育不良による生産ロスを抑え、確実に需要期に出荷できる試験研究に取り組んでいきたいと考えています。(I.M)

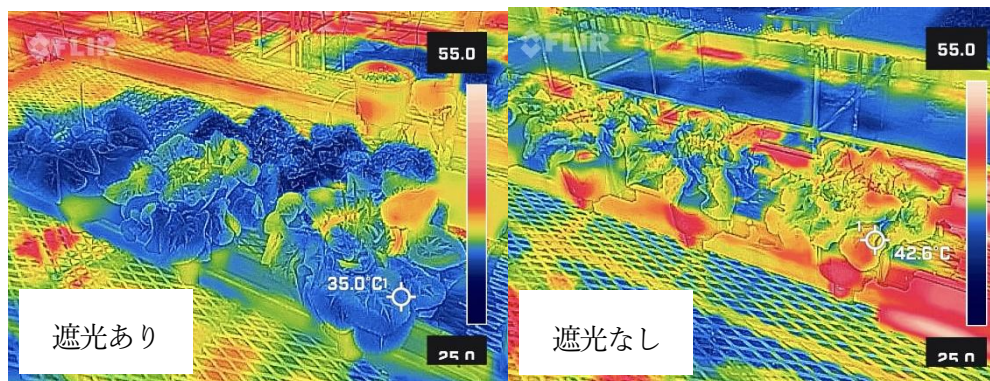


図 サーマグラフィによる日中の植物体の温度差
(「遮光あり」では温度の低い青い部分が多くなっています)